



平成 27 年 5 月 13 日

各 位

会社名 株式会社 クレオ
代表者名 代表取締役社長 阿南 祐治
(JASDAQ・コード 9698)

問合せ先 執行役員 財務管理室長 雨田 高志
TEL 03-5769-3640

連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ および子会社における特別損失計上に関するお知らせ

平成 26 年 3 月期通期の実績値と、本日公表の平成 27 年 3 月期通期実績値に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

また当社子会社において特別損失を計上することとなりましたのであわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期通期連結業績値と前期実績値の差異 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前期実績値(A)	11,387	259	274	44
当期実績値(B)	11,425	357	380	213
増減額(B-A)	38	97	106	169
増減率(%)	0.3%	37.6%	38.7%	384.5%

差異の理由

営業利益、経常利益は子会社各事業が堅調に推移し増益を果たしたことにより増加しました。
当期純利益は子会社における事業譲渡益の発生等により大幅に増加しました。

2. 当社子会社における特別損失の内容

当社の完全子会社である株式会社クレオマーケティングが販売するソフトウェアにおいて、過去の事業実績を鑑み、その資産価値を保守的に再算定し評価した結果 60 百万円を、ソフトウェア評価損として平成 27 年 3 月期連結会計期間に特別損失を計上する運びとなりました。

(1) 当社子会社の概要

① 名 称	株式会社クレオマーケティング
② 所 在 地	東京都港区港南四丁目1番8号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 大屋 守弘
④ 事 業 内 容	基幹系・情報系業務ソリューションから、組み込み系ソフトウェアまで、トータル ICT ソリューションの開発・提供
⑤ 資 本 金	100 百万円

(2) 業績に与える影響

上記特別損失の計上による業績の影響につきましては、本日公表の「平成 27 年 3 月期決算短信」をご参照ください。

以 上